

2020年度 研究、教育、社会・学会活動報告書

1. 研究（本年度のみ）

ふりがな	しょうじ まきこ					
教員氏名	小路 真木子		職 位	教授	学 位	博士（理学）
アルファベット表記	SHOJI Makiko					
	専門分野	情報処理				
研究課題	テーマ	印象評価関連ソフトウェア開発				
	概要	森崎教授との共同研究で、印象評価研究に必要なソフトウェアを開発				
本年度 研究業績	研究費	総額： 380,000 円 内訳：個人研究費 180,000 円 / 科学研究費 200,000 円 そ の 他 円				
	研究テーマ	画像解析ツールの改良および印象語収集システムの開発				
	経過と到達点	<p>2019年度に引き続き、画像解析ツールの改良をおこなう。本年度は特に、円検出機能について大幅な改善を行った。また、シルエット分析についても修正と機能追加を行った。</p> <p>続く共同研究課題であるアニメや漫画の印象分析に関しては、印象語の仮収集のためのウェブアンケートシステムについて、主にデータベース管理部分を担当し、様々な機能を開発した。</p>				

(1) 学術論文

	論文等の名称	発行年月 (西暦)	単・共著 の別	発表雑誌等	概要
①英文査読論文					
②和文査読論文					
③英文論文					
④和文論文					

⑤ 紀要論文	印象分析のための実用的円検出ツールの開発	2021年2月(予定)	共著	『京都経済短期大学論集』第28巻第1号	画像の印象分析のために開発した画像解析ツールに含まれる、円検出ツールについての報告。 画像処理ライブラリに含まれる関数では、色・大きさ・精度・数・配置などが様々な円が含まれる任意の画像において、適切な円検出を行うことが難しい。その問題を解決するため、処理方法に工夫を加え、妥当な円検出が行えるツールを開発した。 (森崎巧一教授との共著。開発に関する部分を小路が担当)
⑥ 紀要研究ノート、専門誌記事等					
⑦ 学会での口頭発表、討論者(ディスカッサント)	画像解析ツールの到達状況について	2020年9月	単著	京都経済短期大学2020年度第1回経営・情報学会研究報告会	画像の印象評価のための特徴データを、画像解析により取得するツールについて、開発状況を報告。特に、大幅な機能改善を行った円検出ツールの成果を中心に紹介した。

(2) 著書

	著書名	発行年月 (西暦)	発行所等の名称	概要
⑧ 共著書・共訳書				
⑨ 単著書・単訳書				

(3) 外部研究資金獲得(競争的資金獲得)

	研究テーマ (代表研究者名)	期間年月 (西暦)	研究項目の名称 (文科省科研費等)	概要
⑩ 共同研究 (研究代表)				
⑪ 単独研究				

⑫共同研究 (分担研究)	印象評価と画像解析を用いた異文化感性理解支援ツールの開発 (森崎巧一)	2019年4月～ 2022年3月	科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) (基盤研究 (C))	日本の漫画・アニメ等を、印象評価を用いて分析することにより、国際文化交流に貢献することを目指す。小路は主に、必要となるツールの実際の開発作業を担当。
⑬科学研究助成事業 (日本学術振興会) 申請				

2. 教 育 (本年度のみ)

		前 期	後 期
		科目名	科目名
担当科目	講義	情報セキュリティ 情報ネットワーク 情報処理概論 自然科学概論	アルゴリズムとデータ構造 プログラミング入門
	演習	基礎ゼミナール ゼミナールⅡ	ゼミナールⅠ ゼミナールⅢ
	実習		
教育内容・方法 の工夫	◆ 講義科目 前期はすべてオンライン講義のため、資料や課題をこれまでより丁寧に作成し、CEAS のレポート提出機能などの活用を増やした。後期の「アルゴリズムとデータ構造」(オンライン) では、出版社が提供するオンライン教材も活用した。また、「情報処理概論」では、Zoom のアンケート機能を活用し、講義内容と絡めたアンケートをリアルタイムで行うことで、内容を身近に印象付けることができた。 その他、ほとんどの科目で最新情報への内容更新を行っている。		
	◆ 演習科目 「ゼミナールⅠ」: 秋華祭で過去のゼミ作品のゲームを活用したいという案を利用し、コードの解説と改造の実習に取り組んだ。また、So what? で話題を広げる、謎解きで法則性の発見や柔軟な見方を鍛える、なども日常的におこなった。 「ゼミナールⅢ」: グループ研究における卒業論文の執筆・編集に Google ドキュメントを利用できるようにし、作業や意見交換を容易にした。		
	実習科目		
	◆ その他 (教科書・教材等の作成を含む。)		

(1) 課外活動

①研修旅行 海外	
②研修旅行 国内	

3. 社会・学会活動（本年度のみ）

(1) 公的委員会

分 類	活動・講演の概要
①委員長・座長 国・国際機関	
②委員長・座長 上記以外	
③委員・アドバイザー 国・国際機関	
④委員・アドバイザー 上記以外	

(2) 学術団体の理事（日本学術会議協力学術研究団体）

分 類	活動・講演の概要
⑤理事長・会長	
⑥理事	

(3) 講演会

分 類	活動・講演の概要
⑦講演者・登壇者・ 学会座長	

4. 特記事項（本年度のみ）

<p>経営専門委員会「100周年実行委員会Ⅱ」委員（100年史担当）</p> <p>「リエイゾン」第43号「お気楽本棚 第11回『レモンをお金にかえる法』」（皆勤継続）</p> <p>「センターNEWS」第30号トピックス「Wi-Fiの基礎知識」</p>
